



2017年6月21日

福島市  
株式会社セブン-イレブン・ジャパン  
株式会社イトーヨーカ堂  
株式会社ヨークベニマル

## 福島市とヨークベニマル、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂 『地域活性化包括連携協定』を締結 ～地域密着のお店づくり、市民サービスの向上に向けて～

福島市(市長 小林 香)と株式会社ヨークベニマル(福島県郡山市 代表取締役社長 真船 幸夫)、株式会社セブン-イレブン・ジャパン(東京都 代表取締役社長 古屋 一樹)、株式会社イトーヨーカ堂(東京都 代表取締役社長 三枝 富博)は2017年6月21日(水)、地産地消の推進と福島市産品の販路拡大、市政情報・観光情報の発信、環境保全、高齢者支援・障がい者支援、地域防災・災害対策、地域や暮らしの安全・安心、健康増進・食育、子ども・青少年育成、その他地域社会の活性化・市民サービスの向上等の9分野において相互の連携を強化し、福島市内における地域の一層の活性化を目指した、『地域活性化包括連携協定』を締結いたします。

### 記

1. 協定の名称 『地域活性化包括連携協定』

2. 協定締結日 2017年6月21日(水)

### 3. 協定締結の目的

福島市とヨークベニマル、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂との緊密な相互連携と協働による活動を推進することにより、福島市のより一層の地域の活性化及び市民サービスの向上を図る。

### 4. 連携事項

上記の目的を達成するために、次の項目について連携し協力していきます。

- (1) 地産地消の推進と市産品の販路拡大に関する事
- (2) 市政情報および観光情報の発信に関する事
- (3) 環境保全に関する事
- (4) 高齢者および障がい者支援に関する事
- (5) 地域防災・災害対策に関する事
- (6) 地域や暮らしの安全・安心に関する事
- (7) 健康増進・食育に関する事
- (8) 子ども・青少年育成に関する事
- (9) その他 地域社会の活性化・市民サービスの向上に関する事

### <ご参考> 福島市内の店舗数(2017年5月末現在)

ヨークベニマル	【福島市内】11店舗、	【福島県内】74店舗、	【全国】210店舗
セブン-イレブン	【福島市内】58店舗、	【福島県内】422店舗、	【全国】19,579店舗
イトーヨーカドー	【福島市内】1店舗、	【福島県内】3店舗、	【全国】169店舗

## 具体的連携事項

※【YB】：株式会社ヨークベニマル、【SEJ】：株式会社セブン・イレブン・ジャパン  
【IY】：株式会社イトーヨーカ堂

以下の項目については実施が決定しております。

① 定例協議会【YB、SEJ、IY】

協定締結の主旨に則り、継続性・実行性のある取り組みを推進するため、定期的に協議を行い、連携事項の進捗確認、その他連携事項の検討を行います。

② 福島市地域見守りネットワーク協定書【YB、SEJ、IY】

地域に則した取り組みの推進を図るため、福島市地域見守りネットワーク協定を締結し、ヨークベニマル店舗・セブン・イレブン店舗・イトーヨーカドー店舗の従業員が通常営業時において、見守り活動を実施し、地域住民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。

③ 災害時相互応援に関する協定書【YB、SEJ、IY】

福島市内において災害対策基本法第2条第1号に規定する災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、被災者に対し、迅速かつ円滑に物資を供給することを目的とした災害時相互応援に関する協定を締結します。

④ 「ふくしまの水」の販売【YB、SEJ、IY】

福島市水道局が製造している、水道水のペットボトル「ふくしまの水」(500ml)をヨークベニマル、セブンイレブン、イトーヨーカドーにて販売致します。

<「ふくしまの水」について>

「ふくしまの水」は、平成18年度に福島市制施行100周年と摺上川ダムを水源とする水道水の本格供給を記念するとともに、水道水が「おいしくなった」ことをPRするため、製造を開始したもので、国際的な品質評価コンテストである「モンドセレクション2017」において、最高金賞を受賞しました。また、2015・2016の金賞受賞と併せ、3年連続で金賞以上を受賞した製品に贈られるインターナショナルハイクオリティトロフィーも受賞し、福島の風評払拭のシンボルとなっています。

現在のラベルは、一般公募で決定したもので、水道水の源である水滴をイメージしたデザインを基本に、福島市の四季を表現したものとなっています。



福島市水道局ホームページ：<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/suidou/?p=16722>

⑤ 「環境最先端都市福島」環境に関する取り組みの推進【YB、SEJ、IY】

福島市内セブン&アイ店舗・従業員は、国民運動「クールチョイス」への賛同し各種取り組みを福島市と連携し取り組みを推進します。

○ ライトダウンキャンペーン【IY】

実施店舗：イトーヨーカドー福島店

○ 環境啓発イベント「第 57 次日本南極地域観測隊 梅津正道さん講演会」【IY】

日 時：2017 年 7 月 30 日（日）

場 所：イトーヨーカドー福島店

内 容：(1) 講演 13：15～14：00

・南極での暮らしぶり、南極の貴重な写真やオーロラ映像

・南極の氷を触ってみよう！音を聴いてみよう！

(2) 南極観測隊梅津正道カレー試食会 14：00～

昭和基地では毎週金曜日を「カレーライスの日」としており、日本南極地域観測隊梅津正道さん監修のカレーの試食会を実施します。



下記項目について、今後四者で検討を進めてまいります。

(1) 地産地消の推進と市産品の販路拡大に関すること

○福島市内店舗での締結記念フェア開催

○市産農産物・食文化を活用した商品の開発、販売

○市産特産物の店舗での販売（福島県ブランド認定商品の販売促進、東北かけはしとの連動等）

○ネット販売の活用推進（IYネットスーパー、セブンミールなど）買い物弱者対策含む

○市内製造業者による物販会（物産展）の共同開催

○市内製造業者を受注者とする商談ビジネス会（ビジネスマッチング）へ受注者として参加依頼

○福島市の伝統料理（食のたくみ）レシピ設置（カードサイズの持ち帰り用レシピカード）

○福島市産農産物に関連した店舗内でのPR等の協力

○新規就農者の生産した農産物の直売スペース確保

○水道局広報誌「SuRiKaMi」店舗設置

(2) 市政情報および観光情報の発信に関すること

○市が発行する市政情報、市内観光ポスターの掲示等

○情報発信コーナーの設置

○電子マネー「nanaco」を使用したキャンペーン等の実施（ご当地ナナコ発行）

○市内で実施される観光イベントの情報告知・PR

○観光農園について店舗での情報提供（パンフレット設置）

- (3) 環境保全に関すること「環境最先端都市福島」
  - レジ袋削減とマイバッグ持参運動の推進
  - 店頭リサイクルの推進（ペットボトル・古紙回収など）
  - ポスターの掲示やパンフレットの設置による普及啓発活動への協力
  
- (4) 高齢者および障がい者支援に関すること
  - 認知症対策として「認知症サポーター」の養成に努める
  - 高齢者が立ち寄り、休憩出来るスペースの設置
  - 高齢者の就業や社会参加を支援するため、中・高年齢者の雇用促進を図る
  - 介護向けイベント等の場所の提供（認知症カフェなど）
  
- (5) 地域や暮らしの安全・安心に関すること
  - 地域の安全対策・防犯対策の取り組み、女性、子供等の駆け込みへの対応
  - 地域での防犯活動を行う集合場所等活動スペースの提供と参加
  - セーフティステーション活動による暮らしの安全・安心への取組み（フランチャイズ協会）
  - 飲酒運転根絶等、安全運転運動の推進に関する取組み
  - 地域安全：交通安全教室「スクエアドストレート教育技法」（IY・YB駐車場での実施検討）
  - 地域住民への安全情報の発信・提供
  - ポスターの掲示やパンフレットの設置による普及啓発活動への協力
  - ATM等を利用した振込め詐欺の未然防止対策の推進
  
- (6) 健康増進・食育に関すること
  - 食育の普及、啓発への協力（市推奨メニューの提案・クッキングサポート、メニュー共同開発）
  - 感染症予防の普及活動やチラシポスターの掲示
  - 健康設置コーナーの設置（血圧測定、健康情報の発信）
  - 運動の啓発（厚労省「階段利用キャンペーン」啓発）
  - 健康月間等ポスター掲示啓発  
（5/31世界禁煙デー、9月健康促進普及月間・ガン征圧月間、10月乳がん月間等）
  - 食育の普及、啓発のためのチラシ配布への協力
  - 「ふくしま県民カード」周知協力、台紙の配布協力
  
- (7) 子ども・青少年育成に関すること
  - 市内の小中学生を対象に行われる職場体験の受入れ
  - 産・官・学の包括連携による次世代を担う子どもたちの育成事業
  - ポスター掲示やパンフレットの設置による広報活動協力
  
- (8) その他地域社会の活性化・市民サービスの向上に関すること

以上